昭和31年8月6日第三種郵便物認可
社団法人日本専門新聞協会加盟紙

かごしま 建設新聞

株式会社 鹿児島建設新聞
発行人 大迫純一
鹿児島市錦江町3番36号
電話 099－227－5100番
FAX 099－225－1919番
振替口座 02020－5－2553
ホームページ
http://www.kc-news.co.jp

3900万円で大建・下舞JVに

新北部清掃工場建設設計

鹿児島市

鹿児島市は、「新北部清掃工場建設設計業務」に係る公募型指名競争入札を実施した結果、3900万円で落札した大建設計・下舞建築設計事務所JVに決定した。入札は11月20日に同JVと昭和設計・東条設計JV、日建設計・堂園設計JVの3JVで実施され、12月2日に落札を決定した。期限は着工の日から平成15年11月28日まで。

来年度、ごみ焼却棟を発注

業務場所は既設の北部清掃工場の北側隣接地の犬迫町11877外。業務概要は機械設備工事請負者である三菱重工業㈱の基本計画に基づき、建築設計等の実施設計図書の作成業務や透視図・模型、外構設計図書、電波障害の予測及びその改善に関する報告書等の作成業務を行う。

同工場の建物概要は、1日最大265㌧の処理能力をもつストーカ式連続運転式ごみ焼却炉を2基設置したごみ焼却棟（約2万5000㎡）のほか、30㌧／5時間の処理能力をもつ粗大ごみ処理棟（約3000㎡）、特別高圧受電棟（約200㎡）、計量棟（約170㎡）など。

今後は、15年度にごみ焼却棟の建築本体、電気整備、空気調和整備及び給排水設備それぞれについて発注を行い、16年度に粗大ごみ処理棟の建築本体を実施。また、18年度には場内整備及び試運転を行い、19年度の稼働開始を目指す。

鹿児島北バイパス 磯の道づくりPI委

アンケート バイパスの早期着工を

鹿児島北バイパス磯の道づくりPI委員会（委員長・松本譲鹿児島大学名誉教授）は3日、鹿児島市のステーションホテルニューカゴシマで第3回の会合を開き、前回絞り込んだルート案のアンケート調査等の実施結果をもとに、今回の会合で海浜ボックスルートと同延伸ルート案に絞り込み審議、14年度中に実施する次回の会合で提言書の骨子案を取りまとめるとした。

委員会は非公開実施され、山岳トンネルルート、都市計画基本ルート、海浜ボックスルート、その他案のうち、海浜ボックスルートと同延伸ルート案に絞り込み提言書の骨子案を提出して比較案を検討。また、住民や利用者の意向を同委員会に反映させるために、地元住民との意見交換会や8－9月に実施した一般市民アンケート調査をもとに協議し、委員の意見集約を図った。今後、第4回目の会合で提言書の骨子案を取りまとめ、提言書を提出する。

鹿児島北バイパスの都市計画は昭和56年に決定され、平成5年の災害に伴い計画変更案が改めて策定。しかし、地元の理解が得られていないため、これまでの経緯を踏まえ課題の解決を図るため、PI（パブリック・インボルブメント）方式を導入し、ルートや道路構造に対する意見交換を行っているもの。

委員会後の記者会見で、海浜ボックスルートは概算で総事業費約240億円とコストの面や工期面などで最適なほか、景観などの問題を配慮すると延伸ルート案が良いが事業費が約300億円になるなどの比較例をあげた。国道10号の渋滞解消などを目的にバイパス整備が必要とする人が90％以上であることを説明。

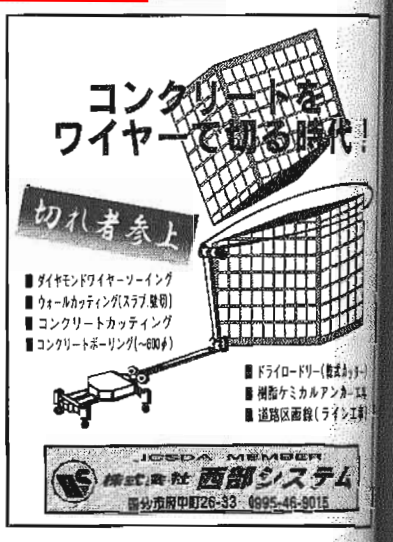
アンケート調査では、海浜ボックスルートが最も多く全体の半数以上を占める54・8％。また、前回の委員会でボックスの延伸案もだされており延伸に対しては全体の3分の2にあたる67・2％が延伸を希望している。このほか、ルート選定にあたり景観や自然環境、自動車走行など重視のほか、磯の仙巌園とすばらしい景勝を活かした観光的まちづくりなどが望まれている。また、北バイパスの整備にあたっては、バイパスの早期着工を望む声が顕著に表れている。

地元意見交換会では、花倉地区で早急に整備ができるルート、磯地区が海浜ボックス延伸ルートを支持、祇園之洲地区が都市計画基本ルートと海浜ボックスルートの両案支持、田之浦地区が海浜ボックスルート（延伸案含む）を支持するなどの地元意向となっている。

審議内容を発表する委員

官公庁ランクアップ
コンピューターにて分析・検討指導致します。
建設業許可・経審・決算変更届・入札参加・社会雇用労災保険・産廃許可・在留手続・外国人雇用管理・会社設立・各種助成金
事務手続代行 致します
行政書士・社会保険労務士
鹿島良事務所
TEL(099)257-7500(代)
FAX(099)257-7503
〒890-0056 鹿児島市下荒田4-14-33（鹿大水産学部裏）

建設機材のリース・レンタル
中央仮設 株式会社
受注専用 FAX0120・880・689
本社 ☎099・229・5900
鹿児島（永吉・川上・緑ケ丘）・串木野・出水・大口・空港・南薩・金峰・鹿屋
お近くの営業所から迅速にお届けします



けんぴつ

開聞町であったプロゴルフの観戦に鹿児島市北部の自宅から車で出かけ、行きも帰りも1時間30分かかった。行きの走向距離63㌔、帰りは69㌔だった▼行きは早朝、国道から指宿市内の県道を経由してゴルフ場へ。帰りは、午後の早い時間に指宿スカイライン、九州自動車道と有料道路を使い、法定速度で走った。締めて1180円の有料道路代金▼確かに、帰りの時間帯に行きと同じコースをとっていれば2時間は十分かかっただろう。早く帰宅できた時間分の出費という考え方が一般に妥当であろう。だが、走向距離の6㌔の差は、もどかしい限りだ▼県や道路公社は、スカイライン、県道の曲線改良、登坂車線の整備を実施しているものの、距離と所用時間短縮の抜本的な解消策にはなっていない。南薩縦貫道計画が進む中で、並行するスカイラインの高速化は難しいのだろうか。

十四年十二月一日
ダイオキシン類対策特別措置法施行
産業廃棄物処理業者としてこの11年間
①成長させて頂きました。
②見守って頂きました。
③法に基づき設備させて頂きました。
特に工事現場での選別ゴミ箱（ストッカー）は適正処理に力を注ぎリサイクル製造品として参りました。
ひとりひとりの、一つ一つの工事の着工はずばらしい完成にパイプの役目をはたしたく前進致し、ひたすら頑張って参りました。
これからもどうぞご指導ご利用下さい。

株式会社ヤクヤクリサイクル
代表取締役 新留次雄
他社員一同
鹿児島市小野町3611番地2 ☎(099)282-8989